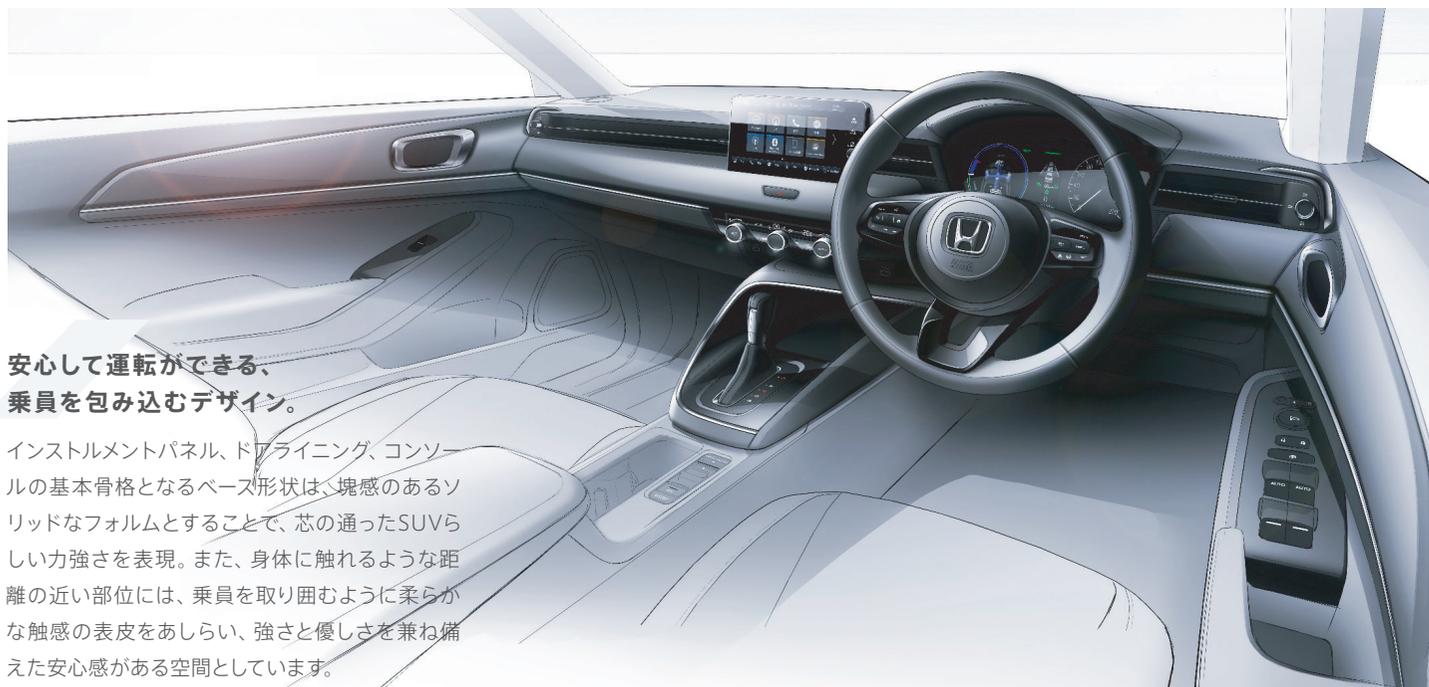


乗る人すべての姿を美しく引き立て、 愉しさを備えたインテリアデザイン。

運転をする際の基本となる操作系の最適な配置や視界のよさを突き詰めながら機能性を徹底追求。その上で、ドライバーや同乗者が行う、一つひとつの動作がスムーズに行える“美しい所作”を意識してデザイン。さらに光と風の気持ちよさを採り入れることで、五感に訴えかける体験価値を共有できる空間をデザインしました。



安心して運転ができる、 乗員を包み込むデザイン。

インストルメントパネル、ドライビング、コンソールの基本骨格となるベース形状は、塊感のあるソリッドなフォルムとすることで、芯の通ったSUVらしい力強さを表現。また、身体に触れるような距離の近い部位には、乗員を取り囲むように柔らかな触感の表皮をあしらい、強さと優しさを兼ね備えた安心感がある空間としています。

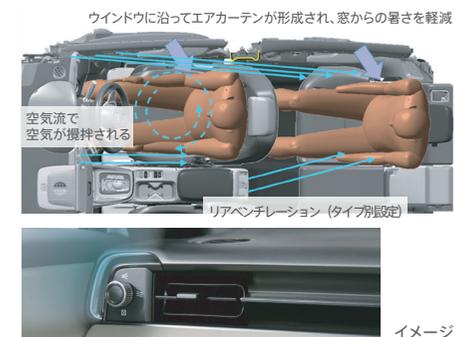
五感に訴えかける光と 風の気持ちよさを、デザイン。

心地よい光を採り入れるために、パノラマルーフをタイプ別設定。開口部は、開放感が感じられるようなテーパー角で、外に繋がる断面形状にこだわりました。またフロント左右に配置した「そよ風アウトレット」が、心地よい風の膜を生み出します。



◎まるでオープンカーのような心地よい風を。

通常の集中して吹き出す機能に加え、風が拡散して吹き出す「そよ風アウトレット」を追加。風がフロント席の乗員の頬をなでるようにサイドウィンドウに沿って後方に流れ、乗員を包み込むような柔らかな風の膜を作り出します。夏場はサイドウィンドウから伝わる暑さや、冬場は寒さを軽減する効果ももたらします。またリアベンチレーションと相まって、後席にも快適さをもたらします。



◎まるでオープンカーのような 心地よい光を。

全席での圧倒的な爽快感にこだわり、見上げ角を設定。フロント席では運転姿勢で正面を見た状態で空が見える視界を確保。リア席では、見上げると目の前に空が広がる爽快な視界となっています。